



令和8年度

7月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和 8 年 6 月 3 0 日



三大幼 HP は
こちらから



必要感や心身の感覚を伴った情報機器の活用

園長 安田 徳章

「目がかわいい！」羽化したばかりのアゲハチョウが、自分の持っているランタナの花の蜜を吸っている様子を間近に見た幼児が目を輝かせて話していました。「さんだいむしむしハウス」や保育室内では、身近な生き物にじっくりと触れて心を豊かに動かしている姿がみられています。今年度は、更に自然との関わり体験などが豊かなものとなるよう、情報機器の活用も積極的に取り入れています。

その一つが、6月の参加参観で保護者の方にもご覧いただいた「アオムシがさなぎになる瞬間をとらえた映像」です。映像自体はもしかしたらインターネットを使えば目に見ることができるかもしれませんが、幼稚園で撮影した映像がこどもたちにとって意味のあるものとなるのは、これまで大切に見守ってきたアオムシがついにさなぎになった、という実体験が伴っていることです。小さくて黒い体のときに園庭で見つけてから餌をあげるなどしてかわいがってきたアオムシ。体の色が変わり、だんだん大きくなってきたアオムシが、ゲームボックスの枠につかまって動かなくなっていることに気が付いたこどもたち。担任が、そのアオムシが写るように情報機器をセットして撮影をしたところ、さなぎになる瞬間をしっかりととらえることができました。数日後には、冒頭の幼児の言葉にもあるように、羽化したアゲハチョウが花の蜜を吸う様子などを、愛情たっぷりにじっくりとみつめることができました。

もう一つが、年長児による大島幼稚園とのオンラインを使用しての交流です。第三大島小学校からいただいた沢山のヤゴを、昨年度から交流している大島幼稚園にも少しだけおすそわけして両園で飼育してきたのですが、大島幼稚園のヤゴがトンボになったとの報告を受けた担任がオンラインでつないで「羽の色が金色だった！」などの感動をこども同士で伝え合う機会をつくりました。数日後には、本園のヤゴが羽化したので、「友達に伝えたい」というこどもたちの思いを受けて再度オンラインでつなぎ、感動が冷めないうちにみんなで喜びなどを共有するとともに友達としての親しみを深めることができました。

小学校以降の学習では、情報活用能力は探究的な学びを支える基盤と位置付けられています。今後の学習の中で、情報技術を自在に活用して課題解決をする力が求められている中、幼児教育においても、こどもたちの必要感や心身の感覚を伴った体験となることを大切にしながら情報機器を適切に活用するなど、教育内容の一層の充実に努めて参ります。



今月の指導のポイント



年中りんご組

幼稚園で初めてのプール遊びが始まりました。こどもたちは、プールに入ることを楽しみに、自分で着替えや身の回りの始末に進んで取り組んでいます。少しずつ水にも慣れてきて、気持ちよさを味わっている姿も見られます。また、色水遊びやシャボン玉遊びなども取り入れ、様々な形で水に触れる気持ちよさを味わえるようにしていきます。

学級のみinnで育てている夏野菜に、実がつき始めました。こどもたちが生長を楽しみにしながら世話をする中で、変化に気付いたり、収穫して食べることに期待をもったりできるようにしていきます。

こどもたちにとって初めての夏休みも始まります。長い休みに入ることが分かり、自分たちの遊びや生活の場を掃除することで、きれいになった喜びや、夏休み後の生活に期待をもてるようにします。

年長にし組

プール遊びが始まり、プールでの約束を思い出して水に触れる気持ちよさや友達と一緒に水遊びをする楽しさを味わっています。顔をつけてみる、泳いでみるなど自分のめあてに向かって取り組んでいくようにします。

好きな遊びでは、船作りや石鹸遊びなどを通して、繰り返し試したり工夫したりしていけるようにします。その中で、こどもたちが考えたことが実現できるように支えていきます。

先日のジャガイモの収穫やジャガイモパーティーの取り組みでは、収穫したジャガイモの大きさや数に気付くことや、自分たちで調理や活動を進める満足感を味わっていました。引き続き自分たちで生活や遊びを進めようとする意欲を大切にします。

夏休み前には、保育室や砂場の遊具など、自分たちが使った遊具や生活の場の掃除をし、きれいになる心地よさを感じ、夏休みを迎えられるようにしていきます。